



GPIFにおける令和4年度の 広報活動について

GPIF
Homepage



GPIF
YouTube channel



GPIF
Twitter



GPIFの広報計画（第4期中期計画抜粋）

第1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

9. 情報発信・広報及び透明性の確保

国民の関心等に応じて戦略的に情報発信や広報活動の在り方を検討し、**専門家のみならず国民やメディアに対する情報発信や広報活動の一層の充実**に継続的に取り組むとともに、**その評価や効果の把握・分析に努める。**

年金積立金の管理及び運用に関して、各年度の管理及び運用実績の状況（運用資産全体の状況、運用資産ごとの状況、各運用受託機関等の状況、管理運用委託手数料、運用受託機関等の選定等を含む。）等について、毎年1回（各四半期の管理及び運用実績の状況（運用資産全体の状況及び運用資産ごとの状況を含む。）等については四半期ごとに）ホームページ等を活用して迅速に公表する。

また、管理運用法人が、**数十年の投資期間を有する超長期投資家**であり、かつ、今後数十年にわたり積立金が大きく積み上がっていく可能性が大きい、という特性を有することを踏まえ、そのあるべき運用の姿について多面的な観点（長期国際分散投資の必要性、オルタナティブ投資の意義、スチュワードシップ活動やESG投資の考え方等）から国民の理解を得られるよう、**分かりやすい情報発信の在り方について検討を深める。**

その際、**管理運用法人のホームページや業務概況書等の一層の充実を図る**ほか、役員の講演等を含め案件の性格に応じた効果的な情報発信を工夫する。**こうした広報の取組については、定期的に検証等を行い、その結果を踏まえて、取組内容を継続的に改善する。**

当面の広報の取組

- ◆ 一般の年金被保険者への情報発信を強化
 - ① 令和3年度にリニューアルを実施した公式ウェブサイトの改善継続
アクセス数のモニタリングを行うなどリニューアルの効果を測定し、更なる改善継続
 - ② 公式ウェブサイトのSEO対策
(検索サイト上で、ウェブサイトが検索結果として上位に表示されるように対策)
 - ③ YouTube動画の新規作成
業務概況書やESG活動報告書などを分かりやすく解説する動画の配信
- ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴うオンラインツールの活用
 - ① 理事長会見(年2回)は中止せず、オンラインシステムを活用
 - ② 役職員の講演登壇はオンラインで継続
 - ③ 公式ツイッターを通じた発信を強化し、フォロワー数4.6万人に
(前年同月比約41%増、約1.3万人増 ※2022年2月末時点)
- ◆ 厚生労働省による年金広報の動きと連携
財政検証のデータを活用し、数十年の投資期間を有する超長期投資家であることを発信
- ◆ 広報活動に関する新たな効果測定調査
令和3年度より質問項目の見直しを行い、広報効果測定調査を実施
その結果を分析・評価し、今後の広報戦略に活用

参考：令和3年度の広報活動報告

◆ 一般被保険者への情報発信を強化

① 法人ウェブサイトのトップデザインのリニューアル

より親しみやすくするため、イラストを中心としたデザインに変更

② アクセシビリティ対応の強化

総務省「みんなのアクセシビリティ評価ツールmiChecker Ver.2.0」を用いて評価を実施

情報通信アクセス協議会が定める「JIS X 8341-3:2016レベルAA」に準拠していることを確認

③ スマートフォン表示の最適化

スマートフォンからの閲覧増加を受け、見やすい画面となるよう調整を実施

○ リニューアル前



○ リニューアル後



○ スマートフォン
サイト



④「特設ページ」の新規開設

年金制度における積立金の役割、長期分散投資の効用、ESG投資などについて、イラストを交えて分かりやすく紹介する特設ページ「GPIFって、なに？」を新設

特設ページ新設「GPIFって、なに？」



GPIFって？

年金制度やGPIFの活動について

今日の日本の年金制度とは？

日本では、現役世代が納める保険料で、その時々の高齢者に年金を給付しています。今の現役世代が将来受け取る年金は、その子どもや孫たちの世代が納める保険料でまわられます。

詳しく見る

少子高齢化の影響で将来世代の保険料負担が増えるのでは？

将来の現役世代の保険料負担が大きくなりすぎないように、年金制度における工夫のほか、GPIFが運用する年金積立金も活用します。

詳しく見る

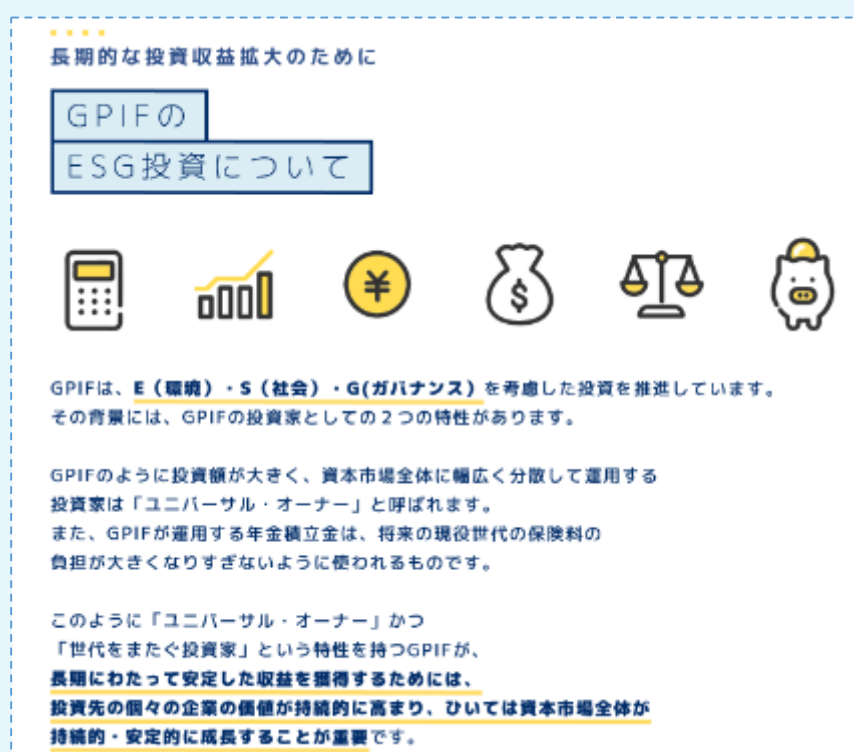
GPIFは何をしているの？

これまで現役世代が納める年金保険料のうち、年金の支払いなどに充てられなかったお金は年金積立金として蓄えられ、将来世代のために運用して確実なお仕事を行っています。

詳しく見る

⇒ <https://www.gpif.go.jp/lp/>

特設ページ新設「GPIFのESG投資」



長期的な投資収益拡大のために

GPIFのESG投資について

GPIFは、E（環境）・S（社会）・G（ガバナンス）を考慮した投資を推進しています。その背景には、GPIFの投資家としての2つの特性があります。

GPIFのように投資額が大きく、資本市場全体に幅広く分散して運用する投資家は「ユニバーサル・オーナー」と呼ばれます。また、GPIFが運用する年金積立金は、将来の現役世代の保険料の負担が大きくなりすぎないように使われるものです。

このように「ユニバーサル・オーナー」かつ「世代をまたぐ投資家」という特性を持つGPIFが、長期にわたって安定した収益を獲得するためには、投資先の個々の企業の価値が持続的に高まり、ひいては資本市場全体が持続的・安定的に成長することが重要です。

⇒ <https://www.gpif.go.jp/lp/moreadvanced/>

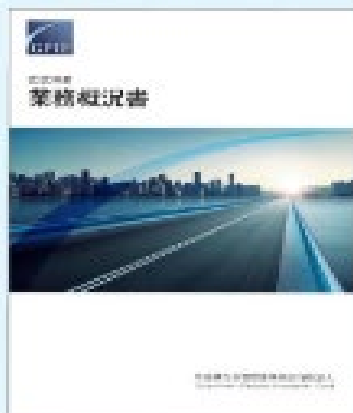
⑤「ピックアップコンテンツ」の新規開設

GPIFが公表する業務概況書やESG活動報告などの刊行物や、YouTube動画を一つのページに集約し、導線の向上を図る

ピックアップコンテンツ

業務概況書などの刊行物や、GPIFに関する動画をご紹介します。

業務概況書



詳しく見る

8.6MB

ESG活動報告



詳しく見る

5.4MB

⇒ <https://www.gpif.go.jp/about/pamphlet/>

参考：令和3年度の広報活動報告

⑥公式Twitterからの情報発信の充実

背景画像をリニューアルしたHPのデザインに合わせ、統一感を演出。投稿内容のバラエティを増やし、情報発信の充実を企図

